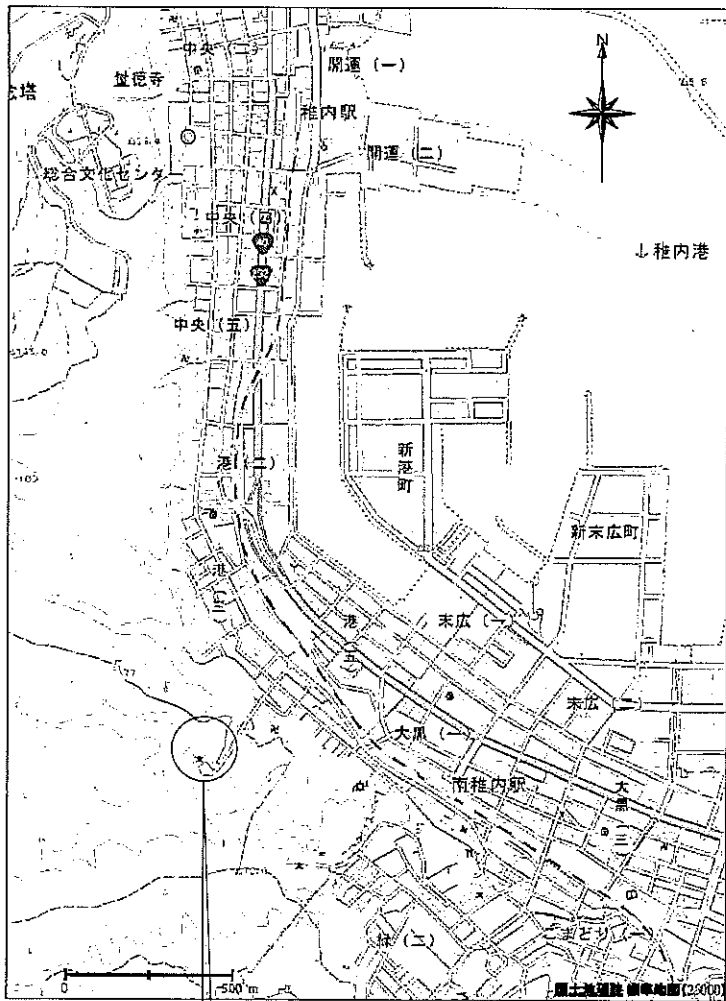


1-1 一般事項

建物の名称		稚内港小学校 屋内運動場棟					
建築場所		稚内市港4丁目94					
用途		(竣工時) 小学校、屋内運動場 (現状) 小学校、屋内運動場					
設計者等	既存建物	設計者	株式会社 久米建築事務所				
		監理者	不明				
		施工者	不明				
	改修建物	診断者	受注者	株式会社 北洋設備設計事務所	再委託 構造担当	-	
		建築(意匠)設計	(*改修計画の場合に記載)				
	構造設計	(*改修計画の場合に記載)					
建物規模	敷地面積	6,865.00 m ²	建築面積	720.00 m ²			
	延べ面積	755.00 m ²	基準階面積	720.00 m ²			
	軒高	6.10 m	最高の高さ	9.43 m			
	基準階階高	2.75 m	地階階高	- m			
建物履歴	設計年	昭和47(1972)年	竣工年	昭和47(1972)年			
	増築・改築	有・ <input checked="" type="radio"/>	(履歴の内容) ・木製間仕切新設による器具庫の設置(施工年、不明)				
	補修・模様替	<input checked="" type="radio"/> ・無					
	用途変更	有・ <input checked="" type="radio"/>					
	火災	有・ <input checked="" type="radio"/>					
震災	有・ <input checked="" type="radio"/>						
構造概要	構造種別	鉄骨造一部RC造 (RS-1bタイプ)	構造形式	梁間：ダイヤモンドトラス 桁行：ブレース構造			
	階数	地上1階・一部2層・塔屋階					
	基礎形式	独立基礎	地業	直接	杭(種別)		
	地盤	1種・ <input checked="" type="radio"/> ・3種	支持層	不明	杭径	杭長	
	敷地概況	平坦	地耐力	30t/m ²	杭支持力		
設計図書	既存図面等	意匠図	一般図 <input checked="" type="radio"/> ・無	詳細図	<input checked="" type="radio"/> ・無		
		構造図	<input checked="" type="radio"/> ・無	構造計算書	有・ <input checked="" type="radio"/>		
	添付図書	写真(抜粋)・意匠図・構造図・地質調査資料 地質調査資料：有・ <input checked="" type="radio"/> (近隣資料 <input checked="" type="radio"/> ・無)					
仕上概要 (下地共)	屋根	長尺片面カラー鉄板瓦棒 t=0.4、アスファルトルーフィング 22kg 木毛セメント板 t=20 EP					
	外壁	煉瓦一枚積、センチュリーボード貼、リシン吹付					
	天井	石膏ボード t=9 EP					
	内壁	楯ベニヤ t=6 OP					
	床	ナラフローリング t=15					
その他	垂直積雪量	(設計時) 100 cm	(現状) 130 cm				
		EXP. J 40mm 1カ所(各階)					

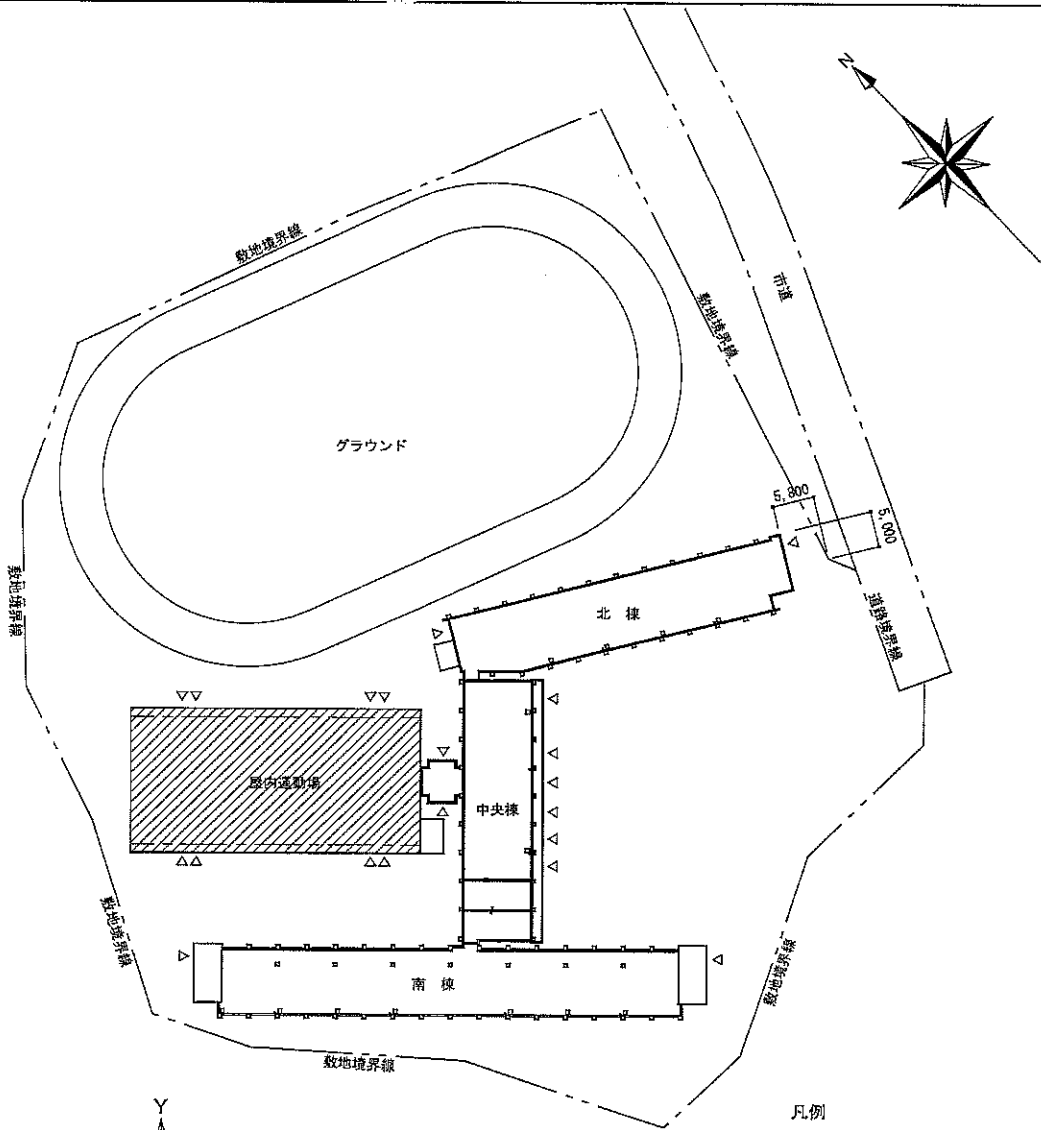
1-2 診断結果表

建物名称 (棟名)		稚内港小学校 屋内運動場棟							
層重量 (kN)		1 階	3,563						
単位重量 (kN/m ²)		1 階	4.72						
柱・壁量 (cm ² /m ²)	X 方向								
	Y 方向								
耐震診断結果 (正・負加力で不利な数値を記入)									
判定指標値				RC 造、SRC 造		Iso=0.56		C _{TR} ・S _D =0.24	
				S 造		I _S =0.7		q=1.0	
方向	階	F	E ₀	S _D	T	I _S	$\frac{C_{TR} \cdot S_D}{q}$	判定	
X 方向									
	上部(A通) (S)	1.3	0.24	—		0.20	0.62	3	NG
	下部(A通) (RC)	2.00	1.04	0.95	0.93	0.92	0.49	OK	
Y 方向									
	5 通	1.30	0.18	—		0.22	0.69	3	NG
結果 (特性)	X 方向	上部 A 通で、文科省基準に基づき判定 3 に該当し、地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高いと判定された。 下部 A 通は、I _S 、C _{TR} ・S _D 共に判定値を上回り、所要の耐震性を有している。							
	Y 方向	5 通で、文科省基準に基づき判定 3 に該当し、地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高いと判定された。							
屋根		桁方向屋根荷重の伝達性能は、耐力は満足しており、伝達可能である。 長期積雪荷重については、弦材や水平材において耐力不足が判明した。							



所在地：稚内市港4丁目9-4

附近見取図



凡例
 診断対象建物

配置図 S=1/1000

(屋内運動場棟)

(株) 北洋設備設計事務所 HOKUYOU EQUIPMENT PLANNING CO., LTD.	1級建築士 登録事務所	記	所長	審査	設計	製図	年	業務名	図面名	縮尺	図面枚数
		事					月	小学校耐震2次診断調査業務(稚内港小学校)	附近見取図 配置図	S=1/1000	